

## 「陛下の赤子」に かすり傷だに負はせなば

9月6日のエントリー「敵兵を救助せよ！ 募金のお知らせ」でご協力頂いた方にご報告が遅れました。お陰様で多くの賛同者が得られたようで、サミュエル・フォール卿は無事に12月7日に来日され、イギリス兵422名を救助した帝国海軍駆逐艦「雷」艦長工藤俊作中佐の墓参をすまされました。改めて御礼申し上げます。この件については「博士の独り言」さん12月11日の「フォール卿が墓参の願いを果たす」で、詳しく紹介されていますので、是非ご覧下さい。

<http://specialnotes.blog77.fc2.com/blog-category-31.html>

この「敵兵を救助せよ」は、もしサミュエル・フォール卿から情報が伝えられなかったら、そして恵隆之介氏の本が出版されなかったら、永遠に埋もれたままだったかも知れません。それにしてもこれほど見事な武士道精神を発揮した事実は希でしょう。ありもしない南京大虐殺、あるいは従軍慰安婦などで支那中共や韓国のプロパガンダにより世界中で日本を貶める工作が繰り返されている現在、出来ればこの事実を映画化して世界中で日本武士道の感動ストーリーとして公開して欲しいと願っています。



週刊新潮12月18日号には見開き写真ページで紹介されました。

ところで、日本の現在の安全保障・国防について「不甲斐ない」と多くの方が感じていると思います。領土問題、拉致問題を考えるとき、「日本政府はもっと毅然とした対応をとれ！」と思うのは私だけではないでしょう。出来ればこういうような対応をして欲しいという見本みたいなエピソードを以前にネットで見つけたのでご紹介いたします。これは2チャンネルから転載したという西プログブルク公国で書かれていたものの再録です。

>日本海軍は北洋警備・北洋漁業保護の為に、最旧式駆逐艦を以て編成する駆逐隊の一隊(定数四隻、司令は大佐または古参の中佐)を毎シーズン派遣しておりました。

国民性なのでせうか、蘇聯は昔から露骨な國で、我が駆逐隊が漁業海域に到達し警備任務に就くや、日頃横暴なる蘇聯艦艇も、途端に猫の如く大人しくなりました。

だから駆逐隊は毎度漁民から熱狂的大歓迎を受けたものですが、必要に応じ、戦隊若くは艦隊を神速に派遣することも行はれたやうです。

父の友人に「ひうらさん」といふ越後人がありました。生きて居られればゆうに百歳超えませう。明治の御代に雪の越後を後にして、刻苦勉強、数多辛酸を嘗め、戦後は小金持になり、銭湯など経営して世を終へられました。この御仁が、大正の末か昭和の初め、蟹工船に乗組んで北洋漁業に従事してゐた時の話です。

氷濤の中、果敢に操業してゐた或日、突然蘇聯の警備艦艇に謂れ無く拿捕され、乗組員一同、浦塩に聯行、抑留されました。(此処までは今日と同じです)。

取調べは惨たらしいもので、生きて再び日の目を拝めるかと思つた程ださうです。ありもせぬ犯罪事實の自白を強要され、半殺

し状態で朝を迎へ、再び鐵格子の中から引き出されました。

## 皆、感泣しました。鋼鐵の艦体に頼ずりしたい 思ひで

いよいよ殺されるかと半ば覚悟した途端、何故か赤魔官憲の態度が掌を返す如くに豹変し、捜査は打切り、無罪放免、露西亜紅茶まで振舞はれてにこやかに釈放するではありませんか解き放たれたひうらさん達は警察署だか獄舎だかの外へ出ました。

天然の港町なら大概、地形的に港へ向って傾斜し、海側の眺望が開けているものです、半信半疑の儘、ともかくも港へ向はむとふらつく脚を海へ向けました。その瞬間、何故、助かったかが判りました。

沖には日本海軍の大艦隊が間近く展開し、旗艦たる巡洋艦以下、各艦砲身を陸に向け、砲門を開き、その強大な攻撃力は毎分幾百幾千發ぞ、陛下の赤子にかすり傷だに負はせなばウラジオストックそのものを消滅させんばかりの圧倒的武威を以て、ソヴェト社會主義共和國聯邦を威圧して呉れてゐたのです。

旭日の軍艦旗の何と美しく、浮かべる城の何と頼もしかったことでせう。皆、感泣しました。鋼鐵の艦体に頼ずりしたい思ひで…。ひうらさんは無事、日本に帰りました。

取るにも足らぬ漁舟の、僅かな人数の乗組員の為に、大國相手の戦争をも辞せず、瞬間に艦隊を繰り出して救出してくれた祖國日本の親心に酬いる為にも、なほ一層仕事に励み、三代の御代を生き抜き、東京都江戸川区小岩の自邸で、四半世紀ほど前に大往生を遂げられました。

勤儉貯蓄、關東大震災の前の歳に買ったといふ革靴を、靴底だけ張替へ張替へして生涯穿き続けました。「贅澤をする金があったら海軍に献金でもせい！」と

今の日本政府にこの気概があったなら領土も拉致もとつくに片づいていたでしょうね。全ての国会議員と国民の皆さんに聞かせたい話です。

カテゴリ: [コラむ](#) フォルダ: [指定なし](#)   

コメント(8)

タグ: [サミュエル・フォール卿](#) [惠隆之介](#) [敵兵を救助せよ](#) [武士道精神](#) [帝国海軍](#) [旭日の軍艦旗](#) [ウラジオストック](#)

コメント(8)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by [第一義@運国齋さん](#)

2008/12/18 06:55

何と素晴らしい御話でしょうか！たとえ2chでも素晴らしい！というか2chならではと思います。マスゴミにこう言う事は記事として絶対乗らないでしょう。

マスゴミはこう言う真実をネットに掲載されるのを非常に蛇蝎視して、便所の落書きとか揶揄して叩く事しかしますが、殺人予告を書き込む大馬鹿も居るとは言え、マスゴミによる有りもしない事を記事にする事よりはずっと普通で事実が書き込まれる事も多く、ネット空間のタブーの無さや、拘束や縛の無い自由さがとても素晴らしく感じられます。

聞く耳さえ無いでしょうが、外患誘致をする[民主党](#)、移民移民と気違いのように叫び、平気で国民を踏みつけにする在日中川、在日坂中某とかに聞かせたい話です。

素敵な、素晴らしい御話を紹介下さり、有難うございます。



Commented by [花うさぎさん](#)

2008/12/18 08:40

To [yuukokushaさん](#) おはようございます。

>何と素晴らしい御話でしょうか！たとえ2chでも素晴らしい！というか2chならではと思います。マスゴミにこう言う事は記事として絶対乗らないでしょう。

私もはじめて見たときは、[2ちゃんねる](#)も良い話が載るんだな～という事でした。ただ、こういう風に探してどこに行けばよいのか、既に千を越えた過去ログの見方が判らない等々、私にとっては制約が多いのも確かですが。



Commented by -さん

2008/12/18 11:18

&gt;ただ、どういう風を探してどこに行けばよいのか

下記のサイトは、ご存知でしょうか？

「反日マスコミが伝えない親日の話」

<http://mikomo.hp.infoseek.co.jp/menu00.htm>

Commented by 花うさぎさん

2008/12/18 13:26

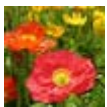
To bibcatさん

&gt;下記のサイトは、ご存知でしょうか？

&gt;「反日マスコミが伝えない親日の話」

これはよいサイトをご紹介いただき、ありがとうございました。

早速ブックマークしました。



Commented by 相模さん

2008/12/18 16:08

この話、感銘を受けました。

国家国民を守るために貫いた古人の気概に対し、一方、対馬を守るアンケートでは国会議員の大多数が無関心とありました(産経)。

これは議員がどうの、というよりも、人間が昔と変わったのでしょう。

従来の日本人は少数派なのです。今の多数派は亜種となったといえよいか。隣国の国民をヒトモドキと揶揄するように、日本人もそうなったとしか思えません。

本日の産経のコラムに、[韓国](#)に来る日本人が[韓国](#)化しているとありました。そう思います。一般の日本人のだらしなさを見れば、ムベなるかな、と思いますもの。



Commented by 花うさぎさん

2008/12/18 18:14

To seelischさん こんばんは。

&gt;この話、感銘を受けました。

いい話ですよね(^ ^)。

&gt;従来の日本人は少数派なのです。今の多数派は亜種となったといえよいか。

どの程度の少数なんでしょうか？。そう思いたくない自分を意識せざるを得ないですが。

&gt;一般の日本人のだらしなさを見れば、ムベなるかな、と思いますもの。

悔しいかな、それが現実なのかも知れませんね。



Commented by kaigaramusiさん

2008/12/18 23:52

花うさぎさん、こんばんは。

自分の子供には、必ず伝えたい話の一つになりました。  
ありがとうございます。

子供を育てる栄養は、読み書きそろばんもそうですが  
このような話を伝える事こそ、根っこを大きく深くする  
一番の栄養剤だと思います。(もちろん愛情も)

私自身ももっと勉強して、いまよりも強い根っこを  
張らなければ・・・！



Commented by 花うさぎさん

2008/12/19 06:19

To kaigaramusiさん おはようございます。

&gt;自分の子供には、必ず伝えたい話の一つになりました。

ありがとうございます。このくらい、日本という国が国民を守るために毅然とした行動を取って欲しいと思います。愛国心はここから生まれるといっても良いと思います。

- > 子供を育てる栄養は、読み書きそろばんもそうですが
- >このような話を伝える事こそ、根っこを大きく深くする
- >一番の栄養剤だと思います。(もちろん愛情も)

今の教育や報道は「日本の良さ」については伝えないという異常なことになっていますから、なおさらご両親の役割は大変ですね。今後もできるだけ、日本の良い話を伝えようと思っています。